



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月31日

上場会社名 石塚硝子株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 5204 URL <http://www.ishizuka.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 石塚 久継
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 財務部長 (氏名) 畔柳 博史 (TEL) 0587-37-2111
 四半期報告書提出予定日 2020年1月31日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年3月21日～2019年12月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	57,850	3.8	2,444	10.6	2,251	7.2	1,439	△5.0
2019年3月期第3四半期	55,758	1.1	2,209	△10.1	2,099	△2.9	1,514	△21.4

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,133百万円(△36.6%) 2019年3月期第3四半期 1,788百万円(△29.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2020年3月期第3四半期	円 銭 343.84	円 銭 —
2019年3月期第3四半期	433.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2020年3月期第3四半期	百万円 82,501	百万円 28,429	% 30.9	円 銭 6,084.85
2019年3月期	81,199	27,597	30.4	5,888.48

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 25,471百万円 2019年3月期 24,652百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2019年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 65.00	円 銭 65.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	48.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 45円00銭 記念配当 20円00銭(創業200年記念配当)

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年3月21日～2020年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,000	5.4	2,500	6.1	2,300	7.3	1,500	0.8	358.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	4,219,554株	2019年3月期	4,219,554株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	33,423株	2019年3月期	33,047株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	4,186,290株	2019年3月期3Q	3,496,624株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境や個人所得は緩やかに回復しているものの、長期化する米中の貿易摩擦の影響により輸出や設備投資に弱さが見られました。先行きにつきましては、米中の通商政策の動向や地政学的な緊張感の高まりなど依然として不透明な状況が見込まれます。

このような状況のなか、当社グループは、当期を初年度とする3か年の中期経営計画『ISHIZUKA 2021～次の100年に向けて～』をスタートさせました。この中期経営計画では、前中期経営計画から引き続き「グループ横断機能の更なる強化」を推進するとともに、最終年度である2021年度に「営業利益率5%の達成」及び「非容器事業を連結売上高の10%まで拡大」をめざして取り組んでおります。

売上高につきましては、PETボトル用プリフォームが主要ユーザー向けの出荷を大きく伸ばしたことなどにより、グループ全体の売上高は57,850百万円(前年同四半期比3.8%増)となりました。利益につきましては、エネルギー価格の上昇はありましたが売上高の増加に伴う増益効果などにより、営業利益は2,444百万円(前年同四半期比10.6%増)、経常利益は2,251百万円(前年同四半期比7.2%増)となりました。なお、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,439百万円(前年同四半期比5.0%減)となりましたが、これは主に、前期に亞德利玻璃(珠海)有限公司が清算終了したことにより同社に対する出資金が課税所得計算上損金処理されたため、前第3四半期連結累計期間の税金費用が減少していたためです。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

<ガラスびん関連事業>

ガラスびんは、清涼飲料水やビールのリターナブルびんの出荷が大きく減少したことに加え、焼酎びんや清酒びんの需要が落ち込んだことにより出荷が伸び悩み、売上高は12,845百万円(前年同四半期比5.7%減)となりました。

<ハウスウェア関連事業>

ガラス食器は、一般市場向けの販売は堅調に推移しましたが、ビールメーカー向けの業務用品や景品の受注が落ち込みました。陶磁器は、国内のホテル・レストラン向けの受注は増加しましたが、海外のエアライン向けの受注が減少したことなどにより、セグメント全体の売上高は10,232百万円(前年同四半期比8.2%減)となりました。

<紙容器関連事業>

紙容器は、主要ユーザーへの拡販により受注が増加したことに加え、原材料や物流コストの上昇に伴う販売価格は正もあり、売上高は5,816百万円(前年同四半期比4.6%増)となりました。

<プラスチック容器関連事業>

プラスチック容器は、PETボトル用プリフォームが堅調な需要を背景に主要ユーザーからの受注が増加したことに加え、当期から本格的に生産を開始した新ラインの稼働により出荷総量が増加したことにより、売上高は24,953百万円(前年同四半期比19.5%増)となりました。

<産業器材関連事業>

産業器材は、IHクッキングヒーター用トッププレートの受注が減少したことなどにより、売上高は1,320百万円(前年同四半期比12.4%減)となりました。

<その他事業>

抗菌剤は、国内及び海外市場ともに売上高が減少しました。金属キャップは医薬品向けの出荷が伸び悩んだこともあり、セグメント全体の売上高は2,681百万円(前年同四半期比11.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,301百万円増加し、82,501百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金、商品及び製品並びに有形固定資産が増加した一方、その他(未収金)が減少したことによるものです。

負債合計は470百万円増加し、54,072百万円となりました。これは主に、固定負債その他(長期未払金)が増加した一方、有利子負債が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の連結業績予想につきましては、2019年10月24日に公表いたしました予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,538	3,696
受取手形及び売掛金	11,506	12,640
商品及び製品	11,608	12,632
仕掛品	745	737
原材料及び貯蔵品	4,562	4,484
その他	3,184	1,173
貸倒引当金	△4	△6
流動資産合計	35,141	35,357
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,376	8,202
機械装置及び運搬具（純額）	6,753	5,993
土地	15,784	17,456
その他（純額）	6,787	6,819
有形固定資産合計	36,702	38,472
無形固定資産	176	167
投資その他の資産		
投資有価証券	7,445	6,788
その他	1,557	1,544
貸倒引当金	△29	△28
投資その他の資産合計	8,973	8,305
固定資産合計	45,852	46,945
繰延資産	205	198
資産合計	81,199	82,501

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,445	8,017
短期借入金	7,157	9,938
1年内償還予定の社債	739	1,117
未払法人税等	270	412
賞与引当金	698	460
その他	7,464	6,590
流動負債合計	23,776	26,537
固定負債		
社債	7,814	7,006
長期借入金	6,485	2,977
役員退職慰労引当金	69	71
汚染負荷量引当金	491	473
退職給付に係る負債	5,866	5,780
その他	9,097	11,225
固定負債合計	29,825	27,535
負債合計	53,602	54,072
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,344	6,344
資本剰余金	4,600	4,600
利益剰余金	6,349	7,515
自己株式	△84	△85
株主資本合計	17,210	18,375
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,567	2,186
繰延ヘッジ損益	13	16
土地再評価差額金	5,338	5,340
為替換算調整勘定	1	△10
退職給付に係る調整累計額	△479	△436
その他の包括利益累計額合計	7,441	7,096
非支配株主持分	2,945	2,957
純資産合計	27,597	28,429
負債純資産合計	81,199	82,501

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年3月21日 至2018年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年3月21日 至2019年12月20日)
売上高	55,758	57,850
売上原価	44,623	46,160
売上総利益	11,134	11,689
販売費及び一般管理費	8,925	9,245
営業利益	2,209	2,444
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	201	115
受取賃貸料	118	154
固定資産売却益	1	54
その他	90	46
営業外収益合計	416	375
営業外費用		
支払利息	266	263
為替差損	—	60
解約損	67	—
その他	192	243
営業外費用合計	525	567
経常利益	2,099	2,251
特別利益		
関係会社清算益	214	—
受取保険金	9	136
特別利益合計	224	136
特別損失		
早期割増退職金	—	23
災害による損失	106	—
固定資産除却損	370	53
特別損失合計	477	77
税金等調整前四半期純利益	1,846	2,310
法人税、住民税及び事業税	312	549
法人税等調整額	△77	207
法人税等合計	234	757
四半期純利益	1,611	1,553
非支配株主に帰属する四半期純利益	96	113
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,514	1,439

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月21日 至 2018年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年12月20日)
四半期純利益	1,611	1,553
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59	△455
繰延ヘッジ損益	195	3
為替換算調整勘定	△161	△11
土地再評価差額金	—	1
退職給付に係る調整額	83	42
その他の包括利益合計	176	△419
四半期包括利益	1,788	1,133
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,557	1,094
非支配株主に係る四半期包括利益	230	39

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年3月21日 至 2018年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガラス びん 関連	ハウス ウェア 関連	紙容器 関連	プラス チック 容器 関連	産 器 材 関 連	業 材 関 連				
売上高										
外部顧客への売上高	13,616	11,142	5,559	20,887	1,507	52,713	3,044	55,758	—	55,758
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	18	—	344	—	363	4,439	4,802	△4,802	—
計	13,616	11,161	5,559	21,231	1,507	53,076	7,483	60,560	△4,802	55,758
セグメント利益	151	268	113	1,346	178	2,057	147	2,205	3	2,209

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社及び子会社の一部の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額3百万円には、たな卸資産の調整額3百万円、その他△0百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年3月21日 至 2019年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガラス びん 関連	ハウス ウェア 関連	紙容器 関連	プラス チック 容器 関連	産 器 材 関 連	業 材 関 連				
売上高										
外部顧客への売上高	12,845	10,232	5,816	24,953	1,320	55,168	2,681	57,850	—	57,850
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	18	—	331	—	349	4,720	5,070	△5,070	—
計	12,845	10,251	5,816	25,284	1,320	55,518	7,401	62,920	△5,070	57,850
セグメント利益又は 損失(△)	45	91	238	1,922	186	2,484	△41	2,442	1	2,444

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社及び子会社の一部の事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額1百万円には、たな卸資産の調整額2百万円、その他△1百万円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません